



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成28年4月28日



大勢の参加者を集めて行われたシンポジウム

## 民間から地方創生を考えるシンポジウムで 地域経済活性化方策を模索

青森商工会議所(若井会頭)と当組合が、3月18日(金)、ホテル青森において、「民間から地方創生を考えるシンポジウム」を、経済関係者ほか一般市民120名を集め共催した。

同商議所及び組合では、民間から地方創生を考え、青森の地域経済をより活力あるものにする方策を模索するため、それぞれ懇談会や委員会を設置し検討を重ねてきた。今回、

検討結果がまとまったことから、その内容を広く公表し、地方創生の一助として活用してもらうため、同シンポジウムを開催した。

はじめに行われた基調講演では、当組合の西理事長が、『オール青森!を実現する流通機能向上のためのマスタープラン』について説明した。

西理事長は経済活性化策の1つとして、魅力ある青森の一次産品を、オール青森体制

での連携支援により、域外へ積極的に売り込むことを挙げた。また、オール青森体制を推進するにあたり、テーマ毎にそれぞれの地公体や諸団体が主体となって協力を呼びかける、「この指とまれ方式」での連携を提案した。

次に、青森地域経済活性化懇談会のメンバーである青森中央学院大学の高山教授が『人口減少下における、地域経済の現状と今後の対応策について』をテーマに講話した。

高山教授は「青森市の基盤産業は域内産業である卸・小売、金融・保険、サービス業。その基盤産業が落ち込んでいる。今後は、農業、製造業、観光などの外貨を稼ぐ産業にシフトしなければならぬ。外貨を獲得しなければ、所得・雇用が増えず、域内循環(卸・小売)につながらない」と説明した。



講演する西理事長



パネルディスカッション

続いて、青森地域社会研究所の竹内調査研究部長をコーディネーターにパネルディスカッションが開かれた。西理事長、高山教授のほか、青森県中小企業団体中央会の馬場専務理事、日本銀行青森支店の山口支店長、青森公立大学の犬矢准教授がパネリストとして登壇。青森の経済活性化策について意見を交わした。馬場専務は、同会がバック

アップして域外進出、ブランド化に成功した「黒にんにく」や「あおもり藍」について紹介。「これからもチャレンジする意欲を積極的に支えていきたい」と語った。

山口支店長は「青森の企業は力があるのに勝負に出ていない」と話し、「東京や大阪に進出するのは距離的にハンデがあるが、海外への進出であれば、東京・大阪からでも青森からでも大差はなく、勝機はあると思われる」と海外進出を勧めた。

犬矢准教授は観光事業について「青森市は他市に比べて

観光売上高が低く、観光マーケティングもあまり実施していない。逆に実施していないからこそ、実施すれば伸びしろがある」と述べた。

最後に竹内部長は「地方創生を民間の力から進めていく道筋として、競争の激しい既存の市場から抜け出し未開拓の市場であるブルーオーシャンを目指すべき。競争が激しくてもやり方を知り尽くしている市場は居心地がいい部分もあり、そこから抜け出すには厳しい部分も多いが、新たな市場を目指して進んでほしい」とまとめた。

### 謹んで地震災害のお見舞いを申しあげます

このたびの平成28年熊本地震によりお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈り申しあげますとともに、被災された皆様や被災地に所縁の深い関係者の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復興を心からお祈りいたします。

協同組合青森総合卸センター 理事長 西 秀記

平成27年度保証基金の精算と承認 第10回理事会

平成27年度の第10回理事会在3月28日(月)、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、平成27年度決算予想や組合員の倒産処理、先日開催され、1面でも既報の「民間から地方創生を考えるシンポジウム」について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。
案件一 組合員の組織変更に伴う出資金等の承継について
案件二 平成27年度保証基金の精算について

平成28年度税制改正大綱のポイントについてと学ぶ 第3回税務研修会

3月22日(火)に問屋町会館において、第3回税務研修会が開催された。青森税務署の谷地田審理専門官を講師に招き、組合員17名が参加した。

主な研修内容は次のとおり。
【平成28年度税制改正大綱のポイントについて】

① 法人税率の引下げ

現行23・9%の法人税率(中小法人の場合、年8百万円超が、平成28年度から23・4%、平成30年度からは23・2%と段階的に引き下げられる。

案件三 役員選挙の理事会推薦について
案件四 平成28年度第1回監査会及び理事会の日程等について

理事会終了後には、青森卸センター(株)の第3回取締役会並びに青森問屋町配送(株)の第4回取締役会も開かれ、提出案件全てが原案どおり承認された。

3月24日(木)には、問屋町会館1階会議室で抽選会が行われ、和田ゴム販売(株)の地域貢献チームが最優秀ドライバー

今年度は18社72チームが表彰基準をクリア 無事故・無違反コンクール

青森交通安全協会問屋町支部(多田支部長)では、平成27年度問屋町無事故・無違反コンクールを実施し、61社



無事故・無違反コンクール抽選会



全4回行われた街頭指導

124チームが参加。48社72チームが表彰基準(チーム全員の無事故・無違反かつ街頭指導へ1名以上の参加)をクリアした。

賞を受賞、その他15チームが優秀ドライバー賞に選ばれた。同支部では「問屋町内交通死亡事故ゼロ7千日」達成(平成28年12月26日達成予定)を目指し、同コンクールや交通安全街頭指導などの活動を通して、安全運転を呼びかけていく。

② 租税特別措置の見直し

生産性向上設備投資促進税制については期限どおり、平成28年度に縮減、平成29年度に廃止される。

③ 減価償却制度の見直し

平成28年4月1日以降取得する資産について、建物附属設備、構築物の償却方法は、定率法が廃止され、建物と同様に定額法に一本化される。

④ 地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の創設

地方公共団体への寄附について、現行の約3割の負担が軽減される損金算入措置に加え、(1)法人事業税で寄附金額の10%(上限:税額の20%) (2)法人住民税で寄附金額の

20%(上限:税額の20%) (3) 法人税では(2)で控除しきれなかった金額と寄附金額の10%のうちいずれか少ない金額(上限:税額の5%)が税額控除される。

対象は、地方公共団体が行う地方創生を推進する上で、効率の高い国が認定した事業に対して法人が行った寄附で、三大都市圏にある交付税の不交付団体などへの寄附は、対象外となる。

⑤ 中小法人の交際費課税の特例延長

定額控除限度額800万円まで損金算入ができる適用期間が2年延長される。また、交際費のうち、接待飲食費の50%までを損金算入できる措

⑥ 少額減価償却資産の取得価額損金算入特例延長

この制度は、中小法人等が30万円未満の減価償却資産を取得した場合、減価償却資産の合計額300万円を限度として、全額損金算入(即時償却)することができる措置であり、適用期間が2年延長される。

▽ 所得税関係

平成28年1月1日以後に受けるべき通勤手当について、非課税限度額が、現行の月額10万円から15万円に引き上げられる。

研修では、その他、貸倒引当金や貸倒損失等の処理について学んだ。

Advertisement for Mirion Co., Ltd. (株式会社 ミリオン) featuring products like nutritional supplements and cosmetics, with contact information and a website link.

Advertisement for Etoshouji Co., Ltd. (江渡商事株式会社) celebrating 1947 years of business and their contribution to regional medical development.

Advertisement for King Corporation (株式会社 キングコーポレーション) promoting communication tools and services.

Advertisement for Kousai Communication Special Machine (コウサイ通信特機) for optical fiber cable design and construction.

問屋町の景観アップに大活躍  
緑のボランティア隊員募集

問屋町緑のボランティア隊では、平成28年度の新規隊員を募集している。

同隊は平成18年に組合員従業員らで結成され、今年で11年目を迎える。団地内緑地への花苗植栽や街路樹の下枝刈払い、街路樹の除草作業などで問屋町の景観アップに大活躍。団地内で働く人達に安らぎを与えている。

活動は、6月から10月までに1回程度、日曜日の午前中に実施。お子さんでもできる簡単な作業ばかりで、家族での参加も増えてきている。



昨年の活動の様子

同隊の活動を更に広げるためにも、多くの方にご入隊いただきたい。  
問屋町緑のボランティア隊に関するお問合せは、卸センター業務部(☎73814711)まで。

卸団地からの地方創生策  
【第3回】

前号に引き続き、平成27年度卸商業団地機能向上支援事業報告書のエッセンスをご報告する。

「オール青森!」を実現する流通機能向上のためのマスタープラン「民間からの地方創生策レポート」

これまでの調査結果を踏まえ、協同組合青森総合卸センターとして果たすべき役割として、3つの方策を提言する。一つ目は、人材育成。卸売業のみならず全ての業種、業態に共通する課題で、これからの人口減少社会において企業が生き残っていくために

は、企業力＝人材力を高めることが必要不可欠である。首都圏の大手企業と対等に商談する営業力や交渉力、会社や商品の損益をしっかりと把握する会計力やマネジメント手法、新たな商品を開発するアイデア力、様々なステークホルダーをまとめそれぞれ強みを生かすプロデュース力。これらの力を発揮するスーパー社員は突然降ってわいてくるものではなく、企業が積極的に育成すべきものである。

このような中、当組合で実施している「問屋町ビジネススクール」が果たすべき役割はより重要であり、今後とも当事業を最重要事業と位置づけ、これまで以上に企業の人材育成支援を行っていきたい。

二つ目は、新分野への進出支援。これからますます厳しさを増していく経済環境を考えた場合、既存の商品や従来のビジネスモデルだけでは現状維持すら難しくなっている。特に卸売業は、これから縮小する域内マーケットに留まらず、域外から外貨を獲得するためには、単なる卸売業から脱却し、商品の開発、デザイン、製造、販売までを、様々な生産者や加工企業と協業して行う商社機能を取り込むことが重要である。

卸売業の強みである流通機能と、青森県の強みである一次産品をより密接に連携・連動することは、青森オリジナルのニッチな商品を生み出すことにつながる可能性を持つ。

これらの取り組みを進めるためには、流通コーディネーター機能がポイントとなる。組合は連携と協同の場づくりをコンセプトに、問屋町ビジネススクールにおいてコーディネーター力向上のためのカリキュラムを設けるなど、組合内外の流通コーディネーターの育成に取り組みたい。

また、流通コーディネーターを取りまとめるプラットフォームも創設したい。これにより、問屋町に来ると情報が取れる、発信できる、ビジネスのつながりを見出せるようになり、組合員をはじめとする地元企業やバイヤー等にとって魅力的な情報拠点を目指したい。

最後となる三つ目は、「オール青森」呼びかけ機能の構築

業務報告

…主要事項…

- 3月
- 3日▽青森商工会議所業務流通商業部会総会
- 4日▽問屋町経営同友会第18回会員交流会
- ▽商団連事務局長会
- ▽青森市勤労者互助会運営委員会
- 7日▽青森市産業振興財団理事會
- 8日▽県中央会下期情報連絡員會議

- 9日▽東青地域産業保健センター運営委員会
- 10日▽あおもりコンピュータ・カレッジ運営委員会
- 15日▽金融審査会
- 17日▽青森情報処理開発財団理事會
- 18日▽民間から地方創生を考えるシンポジウム
- 22日▽第3回脱税務研修會
- 23日▽青森市産業振興財団評議員會
- 24日▽安協問屋町支部無事故無違反コンクール抽選會
- ▽協仙台卸商センター50周年式典
- 28日▽第10回理事會
- ▽青森卸センター(株)第3

…問屋町…

ビジネススクール

- 回取締役會
- ▽青森問屋町配送(株)第4回取締役會
- 2日▽営業研修(説明法編)
- 8日▽経営シミュレーション研修①
- 10日▽経営シミュレーション研修②
- 15日▽経営シミュレーション研修③
- 17日▽経営シミュレーション研修④
- 22日▽新人社員研修①
- 23日▽新人社員研修②

**TOTAL assist 東京海上日動の自動車保険**

あなたの大切なドライブのそばに。

東京海上日動 青森中央支社 To Be a Good Company

青森市長島2-19-1 青森東京海上日動ビル2階 〒030-0861  
お問い合わせ先(TEL):017-775-2424

物流界のトップランナー

**LIFE SUPPORT EGAWA**

株式会社 ライフサポート・エガワ東北

物流界に求められるあらゆるニーズにスピーディーにお応えする  
それが、ライフサポート・エガワ東北です。

青森支店 〒030-0131 青森市問屋町一丁目6-11  
TEL 017-763-5007 FAX017-763-5008

### 体組成をチェックして健康管理

組合では3月より、問屋町ストア内に体組成計を設置し、無料測定サービスを開始した。今回設置された体組成計は病院やフィットネスクラブと同等の本格的なもので、体組成測定を数分程度で行うことができる。体重や脂肪量、体脂肪率、筋肉量などが測定され、年齢や身長から算出された標準体型も併せて表示。測定結果は用紙に印刷されその場で手渡され、体型判



体組成計

定や基礎代謝量、内臓脂肪レベルなどがわかりやすくグラフで表示されるほか、右腕、右足といった部位ごとの筋肉や体脂肪の総合評価、筋肉量の左右のバランスなども知ることが出来る。

健康管理に非常に役立つ内容で、何度でも無料で測定できるので、定期的に測定し、自身の健康チェックに活かしていきたい。

### 清掃用具の無償貸出がスタート

今年度も組合員を対象とした清掃用具の無償貸出(草刈り機の消耗品のみ有料)を開始した。貸出は申込書を提出していただくだけなので、お気軽にご利用ください。



貸出用清掃用具

貸出用具一覧	
草刈り機 (本体2stエンジン)	
高圧洗浄機 (延長コード・ホース有)	
高枝切りばさみ	
スコップ (丸)・(角)	
ねこ車	
側溝蓋上げ機	
側溝泥すくい	
草刈り鎌	
草削り	
ハウキ・竹ハウキ・竹熊手	
デレキ	
チリトリ (蓋付)・(三つ手型)	
二段ハシゴ	
脚立 (天板の高さ3m、2m)	

### 団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、昨年7月に八戸駅前支店から赴任された、(株)青森銀行問屋町支店の前田支店長にお話を伺った。



(株)青森銀行 支店長  
問屋町支店 前田 健栄 氏

同行の取り組み等について尋ねると、「当行の主な営業地域である青森県においては、地方創生への取り組みが本格化していくことに加え、北海道新幹線開業による経済圏の拡大等が期待されています。このことを踏まえ、平成28年4月からスタートした新中期経営計画では、地域およびお客さまへスピード・情報力・先見性の価値を提供することを通じて、資金供給機能や

地域金融サービス、地域活性化を牽引する取り組みを推し進めます。地方創生への取り組みでは、北海道新幹線開業とともに新函館北斗駅内にオープンした八戸市の老舗駅弁製造業者、(株)吉田屋が運営する新業態店、「BENTOCAFE」の41° GARDEEN」の新店に前任店での関わりがありました。地元企業の良い物を県外にどんどん発信していくのが当行の役割だと思っております。是非、函館に行った際にはお立ち寄りを」と宣伝も欠かさない。

「夏はねぶた、冬はプロバスケケットボールチーム「青森ワッツ」の試合観戦ですね。ねぶたは10年位前から囃子で参加しており、1週間と限られた短い期間で1年の想いを爆発させています。自らが名付け親である青森ワッツの試合観戦では、毎回勇気と感動をもらい、自分の仕事でも大きな励みとなっています。辛くて寒い冬が楽しい冬に変わりました。また、妻と一緒にシーズンパスを購入しており、夫婦共通で楽しめる趣味となっています。まだ観たことない人は是非、秋から始まる来シーズンからでも会場に足を運んでいただければと思います。「一緒に会場で盛り上がりましょう」と熱く語った。(49歳)

「夏はねぶた、冬はプロバスケケットボールチーム「青森ワッツ」の試合観戦ですね。ねぶたは10年位前から囃子で参加しており、1週間と限られた短い期間で1年の想いを爆発させています。自らが名付け親である青森ワッツの試合観戦では、毎回勇気と感動をもらい、自分の仕事でも大きな励みとなっています。辛くて寒い冬が楽しい冬に変わりました。また、妻と一緒にシーズンパスを購入しており、夫婦共通で楽しめる趣味となっています。まだ観たことない人は是非、秋から始まる来シーズンからでも会場に足を運んでいただければと思います。「一緒に会場で盛り上がりましょう」と熱く語った。(49歳)

「夏はねぶた、冬はプロバスケケットボールチーム「青森ワッツ」の試合観戦ですね。ねぶたは10年位前から囃子で参加しており、1週間と限られた短い期間で1年の想いを爆発させています。自らが名付け親である青森ワッツの試合観戦では、毎回勇気と感動をもらい、自分の仕事でも大きな励みとなっています。辛くて寒い冬が楽しい冬に変わりました。また、妻と一緒にシーズンパスを購入しており、夫婦共通で楽しめる趣味となっています。まだ観たことない人は是非、秋から始まる来シーズンからでも会場に足を運んでいただければと思います。「一緒に会場で盛り上がりましょう」と熱く語った。(49歳)

「夏はねぶた、冬はプロバスケケットボールチーム「青森ワッツ」の試合観戦ですね。ねぶたは10年位前から囃子で参加しており、1週間と限られた短い期間で1年の想いを爆発させています。自らが名付け親である青森ワッツの試合観戦では、毎回勇気と感動をもらい、自分の仕事でも大きな励みとなっています。辛くて寒い冬が楽しい冬に変わりました。また、妻と一緒にシーズンパスを購入しており、夫婦共通で楽しめる趣味となっています。まだ観たことない人は是非、秋から始まる来シーズンからでも会場に足を運んでいただければと思います。「一緒に会場で盛り上がりましょう」と熱く語った。(49歳)

「夏はねぶた、冬はプロバスケケットボールチーム「青森ワッツ」の試合観戦ですね。ねぶたは10年位前から囃子で参加しており、1週間と限られた短い期間で1年の想いを爆発させています。自らが名付け親である青森ワッツの試合観戦では、毎回勇気と感動をもらい、自分の仕事でも大きな励みとなっています。辛くて寒い冬が楽しい冬に変わりました。また、妻と一緒にシーズンパスを購入しており、夫婦共通で楽しめる趣味となっています。まだ観たことない人は是非、秋から始まる来シーズンからでも会場に足を運んでいただければと思います。「一緒に会場で盛り上がりましょう」と熱く語った。(49歳)

### 編集後記

3月18日の商工会議所と共催の「民間から地方創生を考えるシンポジウム」は青森ケーブルテレビで全内容が放映されました。▼シンポに参加された方、視聴された方からは、好意的なご評価をいただきました。▼今後は提言した内容を如何に具現化するのかにかかっています。新年度の大きなテーマです▼転話題。今年2月に刊行された宗教学者・島田裕巳著「宗教消滅」。そのビックリする内容をご紹介します▼本書は、まず日本の「宗教消滅の兆し」として、文化庁・「宗教年鑑」の平成2年と平成26年の各信者数の推移に注目します。これは各宗教団体の自己申告に基づくものですが、天理教が3分の2、PL教団及び立正佼成会がほぼ半減、霊友会が半分以下に縮減となっていて、すごい減りようです▼しかし、他の先進国でも事情は同じ。フランスはカトリック国ですが、毎週一度教会に通う人は1958年と2011年では約40分の1に減ったそうです▼ドイツではカトリックとプロテスタントの信者は双方ともに約2千5百万人で、それぞれ人口の約30%くらいですが、双方とも2014年の教会離脱者は20万人を超えるそうです▼ヨーロッパでは、キリスト教会は経営が成り立たずに売却されるケースが増えているとのこと▼しかし、驚くべきはその跡地利用です。住宅や天井が高いことから「サーカスの練習場」が一番多いのが「イスラム教のモスクへの転用」だそうです。この項続きます(藤本)

是非、ご贈答用に  
ご利用下さいませ。

青森県産  
**あもり牛  
メンチカツ**  
(90g)×4個セット

本体価格 **800円**  
(税込価格) 846円

青森県産の大自然で育った  
美味しい  
「あもり県産牛100%」を  
使用した肉屋がつくる  
こだわりのハンバーグと  
メンチカツができました♪

青森県産  
**あもり牛  
ハンバーグ**  
(150g)×10個セット

本体価格 **3,000円**  
(税込価格) 3,240円